

【PRESS RELEASE】成田空港活用協議会

首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備促進に関する要望活動の実施について

平成26年11月20日

本日、成田空港活用協議会（会長 石井俊昭）では、首都圏中央連絡自動車道（以下「圏央道」という。）の県内未開通区間の早期全線開通及び北千葉道路の早期整備等について、千葉県及び県内の関係2団体とともに、下記のとおり要望活動を実施しましたのでお知らせします。

記

1 実施期日

平成26年11月20日（木）

2 要望の内容（別添のとおり）

- 圏央道の一日も早い全線開通を図ること。
 - ・ 神崎から大栄間については、平成26年度の開通目標に向け、確実に事業を進めること。
 - ・ 大栄から横芝間については、用地取得を確実に進め、事業を推進し、一日も早い全線開通を図ること。
- 北千葉道路の早期整備を図ること。
 - ・ 現在、国と県の協同で事業を実施している印西市から成田市までの区間については、一層の事業推進を図ること。
 - ・ 市川市から鎌ヶ谷市までの区間については、小室インターチェンジ以西を速やかに直轄管理区間とするとともに、直轄事業として早期に整備着手すること。
- 住民の安全・安心に必要な道路整備の予算を確実に確保すること。

3 要望先

- ・ 財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官ほか
- ・ 国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官ほか
- ・ 県選出国會議員

4 面談者

財務大臣 麻生 太郎
国土交通副大臣 西村 明宏

5 同時に要望した関係団体

千葉県
千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

《お問い合わせ先》 成田空港活用協議会事務局 内田(事務局長)、亀井
千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3階301
TEL:043-306-2411 FAX:043-306-2412 E-mail:info@nrt-promo.jp URL: <http://www.nrt-promo.jp/>

首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望書

「成田空港活用協議会」は、発着容量30万回化で高まる成田空港のポテンシャルを、本県全体に波及させるため、経済界や、観光及び交通事業に関わる企業・団体、千葉県、成田市等自治体の全県的な呼びかけのもと昨年7月に設立され、現在、150を超える会員によるオール千葉の体制で事業に取り組んでいます。

私たちは、成田空港からの人・物・財の流れを県内に取り込むことにより、本県経済の活性化につなげることを目標とし、会員が一体となり、活動を展開しているところですが、この目標を達成するためには、圏央道や北千葉道路等の道路ネットワークを始めとした交通網の整備が、何よりも重要です。

既に、圏央道の開通区間を活かして、国内外から成田空港を訪れるお客様に広く県内を巡っていただくための取組みや、経済活性化のためのセミナーを通じ、会員が圏央道を利用して事業展開を推進するための活動等を行っており、今後もこうした努力を続けていく所存です。

また、北千葉道路は成田空港と東京外かく環状道路を最短で結び、都心や首都圏北部から空港への所要時間短縮を図る首都圏経済の活性化にとって大変重要な道路です。

成田空港を活用した経済活性化の取組みをより一層進展し、本県経済の成長エンジンである成田空港の経済的な効果を、本県はもとより、広く首都圏全体に波及させるためにも、当協議会として、圏央道及び北千葉道路の整備推進について下記のとおり要望します。

記

- 1 圏央道の日も早い全線開通を図ること。
 - ・神崎から大栄間については、平成26年度の開通目標に向け、確実に事業を進めること。
 - ・大栄から横芝間については、用地取得を確実に進め、事業を推進し、一日も早い全線開通を図ること。
- 1 北千葉道路の早期整備を図ること。
 - ・現在、国と県の協同で事業を実施している印西市から成田市までの区間については、一層の事業推進を図ること。
 - ・市川市から鎌ヶ谷市までの区間については、小室インターチェンジ以西を、速やかに直轄管理区間とするとともに、直轄事業として早期に整備着手すること。
- 1 住民の安全・安心に必要な道路整備の予算を確実に確保すること。

平成26年11月20日

財務大臣 麻生 太郎 様

成田空港活用協議会 会長 石井 俊昭

首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望書

「成田空港活用協議会」は、発着容量30万回化で高まる成田空港のポテンシャルを、本県全体に波及させるため、経済界や、観光及び交通事業に関わる企業・団体、千葉県、成田市等自治体の全県的な呼びかけのもと昨年7月に設立され、現在、150を超える会員によるオール千葉の体制で事業に取り組んでいます。

私たちは、成田空港からの人・物・財の流れを県内に取り込むことにより、本県経済の活性化につなげることを目標とし、会員が一体となり、活動を展開しているところですが、この目標を達成するためには、圏央道や北千葉道路等の道路ネットワークを始めとした交通網の整備が、何よりも重要です。

既に、圏央道の開通区間を活かして、国内外から成田空港を訪れるお客様に広く県内を巡っていただくための取組みや、経済活性化のためのセミナーを通じ、会員が圏央道を利用して事業展開を推進するための活動等を行っており、今後もこうした努力を続けていく所存です。

また、北千葉道路は成田空港と東京外かく環状道路を最短で結び、都心や首都圏北部から空港への所要時間短縮を図る首都圏経済の活性化にとって大変重要な道路です。

成田空港を活用した経済活性化の取組みをより一層進展し、本県経済の成長エンジンである成田空港の経済的な効果を、本県はもとより、広く首都圏全体に波及させるためにも、当協議会として、圏央道及び北千葉道路の整備推進について下記のとおり要望します。

記

- 1 圏央道の日も早い全線開通を図ること。
 - ・神崎から大栄間については、平成26年度の開通目標に向け、確実に事業を進めること。
 - ・大栄から横芝間については、用地取得を確実に進め、事業を推進し、一日も早い全線開通を図ること。
- 1 北千葉道路の早期整備を図ること。
 - ・現在、国と県の協同で事業を実施している印西市から成田市までの区間については、一層の事業推進を図ること。
 - ・市川市から鎌ヶ谷市までの区間については、小室インターチェンジ以西を、速やかに直轄管理区間とするとともに、直轄事業として早期に整備着手すること。
- 1 住民の安全・安心に必要な道路整備の予算を確実に確保すること。

平成26年11月20日

国土交通大臣 太田 昭宏 様

成田空港活用協議会 会長 石井 俊昭